

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-131	
評価技術名称					連絡先				
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.				
大壁「上下あき」裏棧あり					〒				
					電話				
					Fax				
概要	技術概要								
	梁及び土台と面材が接合されていない構造用合板補強。 床天井間のみを構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面 14,248 円/kN		
設計見積り例						あり			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚9mm以上								
	釘 N50、CN50 @150以下								
	間柱、継手受材、上下受材あり								
耐震性能									
評価仕様: 大壁直貼仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
4.16kN/m		584kN/rad./m							
裏棧あり:A-111からの低減係数 $\alpha = 0.8$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.8 = 4.16$									
設計方法				大壁 裏棧あり					
①柱接合部による低減				構造用合板 厚9mm以上					
取付部分が健全であること				釘 N50、CN50 @150mm以下					
②劣化による低減				四周、間柱打ち 端あき15mm以上					
取付部分が健全であること				継手受材 30×90mm以上					
施工者指定				釘 柱に対して2-N75斜め打ち					
特になし				間柱に対して、継手受材負け					
その他				上下受材 90×45mm以上					
				釘 柱に対し2-N75斜め打ち					
				間柱 三ツ割材以上					